

▶ スコアボード ◀

横浜 F・マリノス	日産スタジアム	
J 1	3月2日(日)13:00	K/O vs大宮
ACL	3月12日(水)19:30	K/O vs広島恒太
横浜 F C	ニッパツ三ツ沢	
J 2	3月2日(日)15:00	K/O vs愛媛
YSCC	ニッパツ三ツ沢	
J 3	3月9日(日)13:00	K/O vs秋田



発行 一般社団法人横浜サッカー協会
編集 同 広報委員会
〒220-0012 横浜市西区
みなとみらい6-2-1
TEL(045)662-4315 FAX663-5800
http://www.yokohama-fa.or.jp
印刷 神奈川新聞社
〒231-8445 横浜市中区
太田町2-23
TEL227-0808 FAX227-0785

横浜 F・マリノス 21年ぶり「天皇杯」優勝!!



日産スタジアムを管理する新横浜公園管理局長・中野創氏とJリーグチェアマン・村井満氏を訪問、これからのJリーグの在り方などお聞きした。村井チェアマンは「スピード感にあふれたJリーグをめざし、集客率を上げたい」と、抱負を述べるとともに「Jリーグクラブと地元サッカー協会、そして施設(行政)が三位一体となった運営が重要である」とも語った。また、中野局長は「ワールドカップの決勝会場という誇らしい歴史をとらえながらJリーグ百年構想に貢献できるように施設運営を行ってほしい」と抱負を述べた。編集(二社)横浜サッカー協会理事・神林飛雄史

設立の原点に戻り

将来を語る前にJリーグ20年間の足跡を評価しとかなければならないと思います。現在、J1、J2、J3で51クラブがあり、35都道府県に広がってきている。発足当時のマリノスなどオリジナル10から51までにきました。Jリーグの理念、設立主旨の一つである地域に深く根ざすホーム



51チームの総指揮をとる
Jリーグチェアマン・村井満氏

より楽しめる「Jリーグ」へ

百年構想に貢献へ

日産スタジアムは、総面積70ヘクタール余りの「新横浜公園」にある施設です。1998年のオープンから15年が



日本最大のスタジアムを管理運営する新横浜公園管理局長・中野創氏

Jリーグの課題としては、観客が少しずつ減少していること、またサポーターの高齢化という問題を抱えています。開幕当初は、20代、30代の観客層であったが、年齢層が高くなっています。

経ちました。2002 FIFAワールドカップの決勝戦会場という歴史ある実績を踏まえて、Jリーグはもとより、

J3には、U22の代表チームも参戦します。そして全選手のプロフィールを見ると半分が初めてJリーグに登録するというフレッシュな選手です。将来を担うような選手達が活躍してくれるのではないかと期待しています。

サッカー、陸上競技の大会やコンサート等のイベント運営に取組んでおります。特に、我々は指定管理者という立場で横浜サッカー協会様をはじめとする多くの関連機関・団体の協力を得ながら、市の外郭団体という側面のみならず、横浜マリノス株式会社や民間会社など共同体を組み、民間のノウハウを活かした利用者のサービスの向上を図っております。

J1リーグの2ステージ制やポストシーズン制の導入については、いくつもの山場をつくることで新しい観客を動員することができるとはな

り、多くのお客様にご来場いただきました。今シーズンは、更に多くの皆様に足を運んでいただき「サッカーの殿堂」と言われるような拠点づくりを目指しております。また、日産スタジアムの「新横浜公園」は、「野球場」などの運動施設以外に、「日産ウォーターパーク」、「スケボー広場」、「ドッグラン」など多様な施設を持ち、お子さまから大人まで幅広い年齢層の皆様にご利用いただいております。このような施設を管理する者として、Jリーグ百年構想に少しでも貢献できるように努めてまいります。

サッカーのレベルアップ、普及というJリーグの理念にも合致しています。Jリーグクラブと地域協会、そしてスタジアムを持つ行政が三位一体となるのが大事だと思います。子どもたちの目線や地域の方々の目線で捉えてJリーグクラブ、協会、施設が協力していけば、もっとサッカーを楽しめる環境ができるのではないかと思います。

ハーフタイム

ソチオリンピックが開幕した。(2月12日現在) これまでの日本選手の活躍はというとモーグルの上村選手は残念でしたが、5大会連続の五輪出場、やっとメダルが取れたと思っても銅メダルのアメリカの選手より良い滑りをしていたと思うのですが、採点競技は良くわからない時がありますね。金メダル確実と言われていた女子ジャンプの高梨選手も4位でした。色々なプレッシャーがあつたのでしょうか。でも、まだ17歳。この経験を活かして、次にジャンプしてほしいです。スノーボードのハーフパイプは平野選手が銀、平岡選手が銅メダル。あの絶対王者のショーン・ホワイト選手を破つてのメダル獲得ですから素晴らしい一言ですね。また、15歳と18歳で、これからの彼らが胸が高鳴ります。後半戦は、なんと言っても男女のフィギュアスケート。羽生選手や浅田選手、またそのほかの選手がどんな演技をしてくれるか注目です。ということ、しばらくは、寝不足の日々が続きそうです。

いかと思います。しかし、山場をつくってもいい試合をしなければ観客はまた離れて行きますので、日本らしいフェアで選手交替もガラガラしない、笛が吹くまで全力で戦い、観客が感動するような試合をするように各クラブにお願いしていきます。スタジアムの環境づくりも大切なことだと思います。スポーツは楽しいですが、その前後の仲間との交流、家族で食事を楽しくむとか、そういう環境をつくれれば、若い人、家族連れの人も呼び込むことができます。と思います。





今回で27回を迎えた市民マ
スターズ大会は、40代の部・
3グループ（16チーム）、O
Bの部・3グループ（16チ
ーム）で昨年4月から行われ、
3月末まで総合順位決定ゲー
ムが行われます。決勝トーナ

優勝

OBの部 緑ヶ丘クラブ
40の部 神奈川40雀シニア

25年度シニアマスターズ大会

メンとは、グループによる予
選リーグを勝ち抜いたグルー
プ上位2チームが進出し、40
代の部は、緑ヶ丘クラブ・K
クラブ・Jクラブ・神奈川高
麗FC・神奈川40雀・フォル
テSCの6チーム。

第45回 国際チビッ子サッカー大会

優勝

L-1 バディー LL-1 SCH SL バディー

L-2 霧が丘 LL-2 三保小



第45回横浜国際チビッ子
サッカー大会は平成25年9月
28日から始まり、11月30日、
12月1日の各カテゴリーの決
勝戦で二ヶ月にわたる熱戦の
幕を閉じた。
予選リーグ、決勝トーナメ
ントを戦い、L-1部ではバ

◎L-1の部	三位決定戦	FCサン	1-0	FCア
霧が丘	2-1	本郷	FC	
◎L-2の部	三位決定戦	FCサン	1-0	FCア
霧が丘	2-1	本郷	FC	
◎L-3の部	三位決定戦	FCサン	1-0	FCア
霧が丘	2-1	本郷	FC	

ズが優勝した。
横浜ウインズ 金澤 柚希
「絶対に優勝してやる！」
大会当日の朝、私の心は燃え
ていました。
「ピー」ホイッスルとともに
一試合目が始まりました。
一試合目は青葉ガールズとの
戦い。前半ではボールを回す
ものの、なかなか点が取れま
せんでした。しかし、時間が
たつにつれだんだんシュート
数も増え、前半も残りわずか
になった時、仲間がロング
シュートを決めました。その
一点でチームは勢いにのり、
その後すぐに私が二点目をい
れました。その後徐々に点を
いれていき、一試合目は圧勝
で終わりました。
二試合目は勢いにのったま
ま、SHガールズに見事勝利
しました。
三試合目の決勝は前半を一
対一で終わり、後半の中盤で
私が決勝点を入れ見事優勝で
大会を終える事ができました。

元気に初蹴り

シニアの部

2014年シニア新春サッ
カーフェスティバルが1月12日
に横浜スタジアムにて開催さ
れた。今年は気象変化の影響
なのか、かなりの暖かさに恵
まれた一日となった。
今年も、サッカーに興じる
様をこのスタジアムからでき
る事は喜ばしいものである。



第26回横浜招待少年サッ
カー大会は12月14日、15日に
マリノスタウン、MMスポー
ツパークで熱戦が繰り広げら
れた。今大会は横浜と友好関
係にある都市のトレセンチー
ムを招待し、育成という観点
から8人制で多くの試合が行
われた。
初日は12チームを3ブロッ
クに分け予選リーグが行わ
れ、各ブ
ロック1
位と予選
最高順位
の2位の
4チーム
が二日目
のチャレ
ンジトー
ナメント
に回り、

チャンピオンに川崎トレセン

第26回横浜招待少年サッカー大会

激戦を繰り広げた。
◎チャンピオンズリーグ
1位 川崎T.C
2位 多摩T.C
3位 横浜T.C-A
4位 横浜緑区選抜
◎チャレンジートナメント
1位 横浜T.C-B
2位 横浜T.C-U11
3位 相模原T.C
4位 大和T.C

廣幡理事、マリノスが受賞

スポーツ功労賞

1月24日、大磯橋ホールに
於いて「第48回新春横浜ス
ポーツ人の集い」が開催され
た。体育・スポーツへの進歩
発展に顕著な功績をなしたス
ポーツ功労賞（A項）を、現
在審判委員会委員長として各
種大会への審判派遣を一手に
担っている廣幡素道理事が受
賞した。
元旦の第93回天皇杯全日本
サッカー選手権大会優勝の



トップチーム、日本クラブ
ユースサッカー選手権大会優
勝のユースチーム、ジュニア
ユースチーム、ダノンネー
ションズカップ日本大会優
勝、世界大会第三位、フェア
プレー賞受賞のプライマリ
と横浜F・マリノスの全チー
ムが受賞した。受賞者のさら
なる活躍が期待される。

めざせ覇者へ!!

Jリーグが開幕

3月2日よりJリーグが始
まる。Jリーグは今年から
チェアマンも代わって新規巻
き返しの年となる。
昨年はマリノスが好調を維
持してリーグ2位。そして天
皇杯は見事に優勝。今年は
リーグ制覇、天皇杯連覇を目
指す樋口監督の総決算の年に
なる。今年からJ3が新設
され新加入のYSCCの活躍
が期待される。
昨シーズンは天皇杯も取り
全体的には充実した
シーズンでした。
リーグはマリノスが
優勝争いを引つ張っ
てきただけに、本当
に悔しい思いです。
新シーズンは、そ
の悔しさをばねに是
非ともタイトルを取
りたいと思います。
そのためには、得
点力を上げなければ
ならないと思ってい
ます。
また、国際化やシ
ステムの変化に対
しても真のピククラ
ブとして総合的な発
展が必要です。
クラブとしても選手育成も
重要です。現トップチーム29
名の中の14人が下部組織から
出ており、今後の成長に期待
が持てます。
2014年度もタイトルを
目指し、ご期待に応えられる
ようベストを尽くしますの
で、応援をよろしくお願いし
ます。

法人会員一覧	
横浜マリノス(株)	(株) 横浜シミズ
神奈川新聞社	(株) 横浜食品開発
	JFE東日本ジーエス(株)
	(有) マルイシエ芸
	(株) 横浜アーチスト